

質疑応答

- ・ (問) パブコメは実施するのか。

(答) 県のルールでは対象でないという判断もあるが、検討していきたい。

- ・ (問) ガイドラインはいつ策定されるのか。

(答) 本日市町にガイドラインを提示したところであり、現時点では未定。

- ・ (問) (埋立処分の目安値の) 2,000Bq/kgの考え方は。

(答) 国と関西広域を比較して、三重県の最終処分場での作業員の作業状況が、大阪府の設定条件の結果で問題ないと考えられることから、県民の安全安心のため、国 (8,000Bq/kg) より厳しい条件である、近隣の大阪府や関西広域連合の2,000 Bq/kgを素案として提示した。

- ・ (問) 100Bq/kgのものを焼却したら、ストーカ式焼却炉の焼却灰は33.3倍の3330Bq/kgに濃縮されるが、2,000Bq/kgとの整合は。

(答) 通常処理の余力で災害廃棄物を処理 (混焼) することになるため、個別計画の中で混焼率を設定し、焼却灰が目安値を超えないように管理することになる。例えば、混焼率が30%の場合、33.3倍になるなら (100Bq/kg × 0.3 × 33.3) 1000Bq/kgとなる。